

# 福祉サービス第三者評価結果

事業所名	四恩こども園
------	--------

## 福祉サービス第三者評価結果

### ①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

### ②第三者評価実施期日

平成30年3月6日・7日

### ③事業者情報

名 称： 四恩こども園	種 別： 幼保連携型認定こども園
代表者氏名： 理事長 長岡ケイ子	定員（利用人数） 110名
所在地： 〒879-0453 宇佐市大字上田520番地2	
TEL： 0978-32-0525	

### ④総評

#### ◇評価の高い点

- ・「心身ともにたくましく」、「感謝と思いやり心を育む」、「あたたかな場所」の3つを保育理念としており、心を大切にしながら、自然環境の中で身体づくり、豊かな感性を育む等の基本方針が明文化されており、地域の児童福祉に応えようと職員一丸で取り組んでいる。
- ・「事業中長期計画」を策定をしており、目標を明確にしてその達成に向けて、具体的な資金計画等が組まれている。また、事業経営を取り巻く環境についても適切に把握しており、地域の子育て支援の核を目指している。
- ・施設長を中心に運営管理体制が整備されて、保育の質の向上を目指して、保育士の倫理感に裏付けられた専門的知識、技術及び判断をもって、保育士が個々に保育ができるよう組織として取り組んでいる。
- ・利用者を尊重する姿勢を理念に掲げ、利用者の立場に立った福祉サービスを目指し、質の向上を図っている。
- ・利用している子どもの最善の利益を考慮して、個々の子どもの発達過程をより科学的に把握しながら、個別の指導計画書を策定している。
- ・保育の質の向上を目指して、毎週クラス通信の発行を通して保育内容の情報公開、各行事の終了時にはアンケート調査を実施して、公表することなど、保護者に保育内容など適切に説明するよう努めている。
- ・安心安全な福祉サービスが提供されるよう、リスクマネジメント体制が構築されている。
- ・子どもが安全で心地よく過ごせるよう環境が整備されており、子どもの発達が全体像でとらえられるようチェックリストが作成され、一人ひとりの状況に沿って、見守りながら適切な援助を行っている。

・子どもの生活を充実させるため、送迎時や連絡帳・クラス通信・面談・懇談会等で保護者と情報交換を行ない、家庭と連携し保育に取り組んでいる。また機関誌の情報提供や予防的に保護者の心配事にも耳を傾けている。

・各研修会への参加や、保育士自身が自己評価を行い、会議等で振り返りが行われている。

◇改善を求められる点

・保護者等のニーズに応じて保育の質の向上を図っているが、そのために保育士の業量が増しており、保育士に負担軽減が図られるよう、事務の改善、合理化について検討することを期待する。

・子どもたちに対して、つい指示的な声かけをしてしまう場合があるが、せかす言葉や制止する言葉を不必要に用いないよう配慮したいと望んでいる。さらに子どもたちがくつろいで過ごせる場になる保育に期待する。

・第三者からの評価、人事考課制度等の活用により、更なる質の向上に期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

子ども・子育て支援法制定以後、保育所や認定こども園の果たす役割が子どもだけではなく、社会福祉施設としての社会貢献、保護者支援、関係機関との連携等々増々大きくなり、それに伴い職員の負担も年々増大しています。

日々の業務に追われる現状を打破し、①保育・教育の質の向上②職員の資質向上③社会福祉施設としての機能強化を目指して、今回初めて第三者評価を受審することにしました。

受審するにあたって、可能な限り勤務時間内に勉強会や検討会を重ね、準備不足な面もあるかと思われませんが、年度末の3月に評価を受けることができました。

今回の受審にあたっては、職員のやる気の機運が高まったことが何よりの成果だと感じています。職員全員が共通の問題意識をもち、自分達の保育・教育を振り返り、それを基に新年度の新たな達成目標ができました。新年度は、職位や経験年数に拘らず全員で計画をたて役割を分担し、又、園内研修も充実させ更なる保育・教育の向上に努めたいと考えています。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）